

川東の里だより

2016.1 No.96

発行者
松尾東司

発行所
社会福祉法人 川東の里
北見市川東226番地2/TEL(0157)24-3030

- ・川東学園・きたみ学園
- ・きたみ学園成人部
- ・友楽里・風楽里
- ・フレンズ・豆ちゃん
- ・あさひ45・緋牛内事業所
- ・むぎわら

印刷所
(有)サンケイプリント社



友楽里で週に一回 午後の時間に取り組んでいる「美術の時間」。一年間の集大成として大きな作品展を開いて今回で六回目となります。昨年から場所をバラボ市民ギャラリーに移しました。たくさんのお客様に見ていただきありがとうございました。

今回のテーマ「アート」「アート」は“色とりどり”と“十人十色”を合させて作った言葉です。誰も真似できない、同じものがない、それぞれの『特色』が出ていて鮮やかにひかる作品たちには、作者の皆さん素敵な「そのへりしや」が溢れています。わたしたちはこの作品展を通して、地域の皆様と利用者さんとを繋げたいという想いで活動しています。

今回は友楽里、友楽里さじごうラブ、あさひ45、川東学園、きたみ学園の利用者さんの作品を展示しました。今後はより一層、皆さん的作品を見ていただく機会を増やしていくけるよう計画中です。ご来場くださいました皆様、ありがとうございました。

川東の里作品展
～アート～



年頭にあたつて

社会福祉法人 川東の里

理事長 松尾東司



新年明けましておめでとうござります。

皆さまには、平成二十八年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は当法人の事業推進に当たりまして、温かなご理解とご支援をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

この三月には、社会福祉法人「めぐみ会」から分離独立し、新たな社会福祉法人「川東の里」がスタートして十周年の節目を迎えようとしております。

この間、北見市における「川東の里」の社会的役割や地域の多様なニーズを受け止め、各事業所における施設・設備の充実や法人を支える人材の確保・育成に努めるなど、提供する福祉サービスの質の向上を目指して参りました。

また、社会福祉法人を取り巻く社会環境が著しく変化する中で、

事業運営の透明性の向上や適性かつ公正な財務管理など、中長期の展望に基づく経営基盤の充実に努めてきたところでございます。

社会福祉法の改正案が、昨年の七月に衆議院を通過し、今国会での参議院審議が予定されております。経営組織のガバナンス強化や地域社会福祉への一層の貢献などが求められておりますが、中央の動向把握に努め、法人役員をはじめ職員が一体となって課題への適切な対応を進めて参りたいと存じます。

今年も、オホーツクの『流氷』の便りが聞こえる季節を迎えておりますが、利用者の皆さま方が元気に働き、楽しく安全に生活できる福祉施設の運営に一層努めて参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

父母研修会参加報告

川東学園父母会

副会長 中川勝彦

十月二十五日に行われた父母研修会は、例年より多い三十名を超える参加者があり、今回のテーマについて関心の深さを感じられました。

最初に工藤支援課長から川東学園の現状と課題や今後の見通しなどについて説明がありました。その後、北見市成年後見人支援センター職員による成年後見人制度と日常生活支援事業についての研修に入りました。

導入に紹介されたビデオがわかりやすく、すんなり研修に入ることができたように思いました。今まで成年後見制度とうとなんなく一つの制度と思つていましたが、法定後見制度の中にも三種類あり、その他にも日常生活支援事業や任意後見制度があることが紹介され、認識が深まりました。

また、法定後見人を付けた場合、個人の財産などの管理については保護されますが、家族の意向と後見人の間で意外なトラ

ブルにあうこともあり、依頼にあたっては双方の意思疎通が重要で、慎重な判断が重要な要です。また、日常生活支援事業や任意後見制度の活用についても福祉センターで相談に乗つてくれることがわかり心強く思いました。説明の後には多くの質問や意見が出され、大変熱のこもった研修会になりました。

後日、北海道新聞に家族信託についての記事が掲載されました。記事が掲載されたり、自分の将来についても考えることにつながりました。



「生産フェア」を終えて

むぎわら

支援員 若沢勇樹

昨年九月二十七日にあさひ45にて開催されました『川東の里 生産フェア』ではたくさんの方々に御参加、御協力いただき、ありがとうございました。

今年度で三回目となるあさひ45での生産フェアの開催でしたが、午前中は好天に恵まれたこともあり例年以上のお客様にご来場いただきました。

恒例となつております生産物販売も大いに賑わいを見せ、川東の里の利用者さんが丹精込めて作業して出来たハムやパン、豆腐やきのこ、そして新鮮な野菜をたくさんのお客様にご購入していただくことが出来ました。

「美味しくて、安心で、安全な」食べ物を提供するため、障がいを持つ利用者さんと共に力を合わせて作業している職員が懸命に作っている生産物にご理解と共感していただけたお客様がこんなにもたくさんいらっしゃるんだと思うと、一人の職員としてとても嬉しく、とてもありがとうございました。

しかし、充分に準備していたつもりでしたが、一部の生産物が早々に売り切れてしまい、全てのお客様に希望の商品をご提供できない状況と

なつてしましましたことは大いに反省し、今後は出来る限り多くのお客様にご満足いただけるよう更なる努力もまた必要であると再認識することができました。次回に向けてまた頑張ります。

生産物販売もにぎわいましたが、イベントやバザーにおいても終了までたくさんのお客様に来て、参加していました。

イベントでの目玉は二年ぶりに復活した「豚レース」でした。

端野町川向にある川東の里の農場で、利用者さんが毎日飼育している元気な子豚さん達がゴールを目指して勢いよく走っている姿を大歓声で「頑張れ！」と一生懸命応援する人や「可愛い！」と優しい顔で見ている方は皆さんとても幸せそうでした。

その他にも小動物ふれあいコーナーではウサギや綿羊、レースを終えた子豚と触れ合い、スタンプラリーでは会場に散らばるクイズ問題を探して解いてもらうなど趣向を凝らしたイベントに皆さん楽しそうに参加してくださいました。



生産物販売の様子



もちつき
「よいしょ!」



大人気の子豚レース

に使った焼きそば等に行列ができ、お客様から「美味しいかったよ」とのお声をいただきました。また今日は福まきを新しい試みとして取り入れさせていただきました。この生産フェアに参加してくださった皆さんに福が訪れるようにとの思いで執り行つたので、皆様に幸福が訪れたものと勝手に信じております。しかしながら、午後からは一転して大粒の雨と強風に襲われてしまい、予定時間よりも早く終了してしまうこととなり、ご来場していただいた皆様や販売・設営といったお手伝い等のご協力していただき、工大生の皆様、父母会の方々には多大なるご迷惑をおかけいたしまして申し訳ありませんでした。

最後に、改めてお忙しい中お手伝いいただいた工大生の皆様、父母会や利用者さんの保護者の皆様、川東の里各事業所職員・利用者の皆様ありがとうございました。今回の生産フェアも皆様のご協力のおかげで事務などなく無事に執り行うことが出来ました。紙面をお借りしてですが御礼申し上げます。

地域の皆様方に川東の里の活動や利用者さんのこと、障がいということについて少しでも御理解をしていただくために、この生産フェアを含めて、たくさんの機会をご提供できるよう職員の一人として今後も尽力していきたいと思います。

川東学園 作業風景

川東学園のどんぐり班では、紙すきではがき、便せん、しおりなどを制作中。また、小動物班では手探し中ではありますが木工作品に取り組んでいます。これらの作品は来年の生産フェアで販売する予定なので皆さん、ぜひ生産フェアに足を運んでみてください。



おめでとう!! 祝・成人



今野 航佑さん



坂下 誠克さん

<むぎわら>

今年、川東の里を利用している方で成人式を迎えた方が9名おりました。

これからも色々なことに挑戦して、事業所のお仕事頑張りましょ~!!



佐藤 有耶さん



鈴木 直人さん



田中 麻結香さん

遠藤 雛さん

松浦 康文さん

<豆ちゃん>



鈴木 徳仁さん

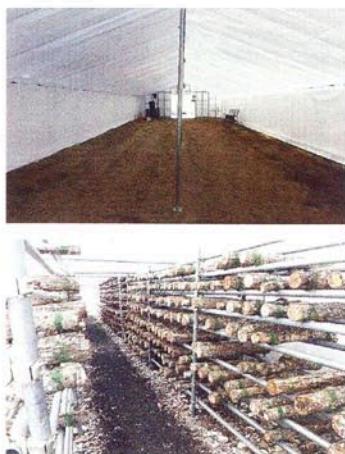


日並 浩希さん

<きたみ学園>

きたみ学園

椎茸木ダ木育成施設



今年度よりビニールハウスでの椎茸生産を始めました。昨年度までは黒ネットを張った人工ホダ場を作り、ホダ木を積み上げての生産だったので、時期によって収量のバラつきやハネ品が多くなるなどの課題がありました。加えて冬用いが必要な為、九月末で水つけを終えました。

今年度の春からはビニールハウスを使って発生・静養を行い、水つけ後は棚にホダ木を置いて発

今年度よりビニールハウスでの椎茸生産を始めました。昨年度ま

が発生していました。

十二月には三棟目のビニールハウスが完成となり、二月からはそのハウス内で植菌作業や仮伏せを行ふ予定です。今後は、三棟のビニールハウスをフル活用して、皆さんに喜んでもらえる美味しい椎茸をたくさん生産したいと思って

生きる方法に変更しました。ビニールハウスは、ある程度の温度管理ができるので収量も安定し、形の良い椎茸が多くなり、以前の倍近い収穫ができました。更に驚いたことに、年末になつても椎茸

ノロウイルス（感染性胃腸炎）・インフルエンザの流行する季節です。罹らない、うつらない、うつさないよう、以下のことに注意しこの時期を乗り越えましょう！

【感染性胃腸炎】

ノロウイルスが口から体内に入つて感染し、腸で増えて、嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状を引き起こす病気です。

★ノロウイルスにかかるかな？



ノロウイルスには有効な特効薬はありません。通常一

二日で症状は治まるので脱水症状を起こさないようにして休まず水分をとるようにして休みましょう。ノロウイルス感染症は、強い症状が出やすく、感染しやすい病気ですので体調が回復するまで、お家でしっかり休養するようにしましょう。

医務室から



★ノロウイルスの予防法は？

やつぱり手洗いです！！こまめに手洗いをしましょう。

【インフルエンザ】

★インフルエンザかな？と思つたら早めに受診しましょう。症状→悪寒・頭痛・筋肉痛などの症状・三十八℃以上の高熱。

【インフルエンザと診断されたら。】

症状が出てから五日間、かつ熱が下がってから二日間経過するまで、出席（出勤）停止になります。お医者さんが許可してください。熱が高い時は、脱水症状を起こしやすいので水分は十分にとりましょう。

元気に過ごす秘訣

- ・バランスの良い食事をします。
- ・睡眠リズムをくずさない。
- ・適度な運動。
- ・こまめに手洗いをします。



本田さん
始めた時間・終わった時間を決めてスピードをあげながら、等もメモ帳に記入してより早く行えるよう努力しているです。

風楽里の就労移行を通じ、今年度十二月現在で五名の方が就職しました。就職した後も定期的に訪問し、作業場面・休憩中の様子等を伺っています。また、休憩中の時間を少しこたつき面談等も行っています。



坂本さん
初めて働いてみて、上手く仕事が出来ないことがあるので直していきたい。自分で物事を考え、仕事慣れても気を引き締めて仕事をしていきたい。初心を忘れないようにしてきたいです。

皆さん社会人として第一歩を踏み始め、スタートラインに立ち始めたばかり。今回は二名の方を紹介します。今後も本人が必要とした時に力になれるよう就労支援を行っていきます。

就職しました

グループホーム「やまぶき寮」へようこそ! No.7

かしわ寮

40歳代~70歳代と、幅広い年齢層の方が一緒に生活しています。助け合い、時にはぶつかり合いながら、毎日を過ごしています。穏やかな日々が続くよう、願っています。

〈寮で人気のメニューベスト3〉

- ・さつまいもの天ぷら
- ・オムライス・クッキーやコーヒーゼリー

〈みんなの好きな時間〉

- ・お昼寝をしているとき
- ・編み物をしているとき
- ・買い物をしているとき

〈これからの夢は〉

- ・バレンタインにチョコをあげたい
- ・ディズニーランドに行きたい
- ・サンリオピューロランドに行きたい
- ・お化粧道具を買っておしゃれしたい



ふくじゅ荘

20歳代2名、40歳代2名の働き者男性4名が生活しています。力仕事をしている方が多いので、食欲モリモリ♪食卓も賑やかです。

〈寮で人気のメニューベスト3〉

- ・カレー、シチュー、ラーメン…ぜんぶ人気!

〈みんなの好きな時間〉

- ・自分の部屋で趣味の模型作り
- ・ビデオ鑑賞

〈これからの夢は〉

- ・名古屋に住んでいるお姉さんの所に行きたい
- ・大阪USJに行きたい
- ・京都に行きたい
- ・埼玉県朝霞駐屯地に行きたい



川東の里 クリスマス会

きたみ学園



あさひ45



緋牛内事業所

川東学園



フレンズ

友楽里



風楽里

むぎわら



